

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成24年度分）

団体名：八幡市

プロジェクト名	人がつどい、活力あふれるまちづくりプロジェクト		実施期間	平成23年度～平成27年度	テーマ	地域産業の育成	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・橋本駅周辺は踏切の影響で交通結節機能が弱く、駅前広場とアクセス道路の整備が必要である。</li> <li>・本市玄関口である八幡市駅前の観光案内所やトイレなどが老朽化している。</li> <li>・淀川三川合流域、石清水八幡宮、流れ橋等の観光資源のPRが十分ではなく、観光、産業の発展に課題を残している。また黒カレーなどの開発した八幡ブランドの普及が必要である。</li> </ul>							
プロジェクトの目的及び概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・橋本駅周辺拠点整備や八幡市駅前広場の整備により、広域交流機能の誘導、近隣都市の連携の円滑化、観光客の増加を目的とする。</li> <li>・淀川三川合流域、石清水八幡宮、流れ橋、松花堂の観光資源や黒カレー、クロッカ、黒はちまん等の八幡ブランドをPRすることで、観光・産業振興と活気あるまちづくりを推し進める。</li> </ul>							
	総事業費（千円）	1,098,983	本年度事業費（千円）	294,963	交付金額（千円）	7,573		
プロジェクトを構成する事業の平成24年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	橋本駅周辺拠点整備事業費	交付対象事業	駅前ロータリーや府道京都守口線との結節を一体的に整備し、駅周辺の活性化を図る。			府道京都守口線と市道橋本南山線を結ぶため、京阪電車本線上空の高架道路に伴う設計 道路用地取得 2,242㎡		
	八幡市駅前施設改修事業	交付対象事業	八幡市の玄関口である、八幡市駅前の観光案内所、トイレ等の改修、観光案内板の新設。			観光案内所、公衆トイレ改修、観光案内板新設		
	コミュニティバスルート変更事業	交付対象事業	市民活動拠点の旧八幡東小の整備に伴い、整備地へのバスルート変更を行う。			24年12月22日ルート変更以降 利用者830人/月増加（対前年比）		
	コミュニティバス運行事業	関連事業	コミュニティバス運行委託 2台 日20便			29人乗ノンステップバス2台、1日20便運行 乗車人員83,731人/年		
住民 協働 事業	八幡ブランド商品普及事業	交付対象事業	開発した八幡ブランド・特産品ブランド商品を市外に広く発信し販路の拡大と普及を図る。			黒カレー、筍カレー、クロッカ、カレークロッカを各種イベントに八幡特産品として販売		
	淀川三川ふれあい交流背割堤七夕まつり開催	関連事業	淀川三川合流域で七夕まつりを開催し、人と人、動物、自然、文化のふれあいを目的とする。			24年8月10日～12日 来場者数 3,850人		
成果 指標	成果指標の目標数値	背割堤七夕まつり来場者数 → 増加	2,200人（23年度）		成果指標の実績値 （24年度）	3,850人		
	成果指標の達成状況	◎	（左の理由）	イベントの周知や内容の充実により来場者数が増加した。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）				（時期）	

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成24年度分）

団体名：八幡市

<p>本年度の事業実績が 成果指標の達成に与え た効果</p> <p>※未達成の場合も効果 を記載すること</p>	<p>背割堤七夕祭は第4回を数え、イベントの周知や内容の充実により来場者数が増加し、淀川三川合流域において市内外からの参加者のふれあい交流を行った。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。</p>	
<p>本プロジェクトに 対する自己評価</p>	<p>関連事業との連携効果</p>	<p>関連事業のコミュニティバス運行事業は、文化センターに来客する方が直接やわた流れ橋交流プラザ施設に行くための貴重な交通手段となっている。</p>
	<p>府と市町村等との連携に資する成果</p>	<p>背割堤七夕まつりは、全国的にも珍しい淀川三川合流域において、七夕まつり等ふれあい交流実行委員会を中心に国や京都府及び他市町村と共同で開催し、淀川三川の啓発や他府県の来客を図れた。</p>
	<p>住民の自治意識を高める成果</p>	<p>コミュニティバスは旧八幡東小学校内に整備したふるさと学習館、福祉会館、市民協働活動センターの利用者の交通手段となり、乗車人員の増加につながった。</p>
	<p>リーディング・モデル成果</p>	<p>廃校となった旧八幡東小を市民活動拠点の整備をしたことに伴い、整備地へのコミュニティバスのルート変更を行い、地域の交通手段の円滑化を図った。</p>
	<p>広域的波及成果</p>	<p>八幡市駅前施設改修事業は、本市北部の広域的な交流拠点として、ターミナル機能、防災空間をもちあわせた駅北地区の整備を24年度も引き続き進めた。サイクリングロード利用者（木津川上流から桂川上流の京都嵐山まで全長50キロメートル。八幡は中間地点にあたる。）の休憩場所としての整備も進めた。</p>
	<p>行財政改革に資する成果</p>	<p>コミュニティバスのルート変更により、旧八幡東小学校を活用した施設の利用促進につながった。</p>

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。